

関東学院大学・(一財)シルクセンター国際貿易観光会館・(公財)横浜市ふるさと歴史財団
「令和4年度 横浜スカーフ・アーカイブの保存と活用に関する覚書」の締結
および 横浜輸出スカーフ展示開催のお知らせ

横浜市歴史博物館（横浜市都筑区、運営：公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団、館長：佐藤信）が管理する「横浜スカーフ・アーカイブ資料」について、その保存と活用に向け、関東学院大学（横浜市金沢区、学長：小山巖也）、一般財団法人シルクセンター国際貿易観光会館（横浜市中区、会長：松村俊幸）および公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団（横浜市都筑区、代表理事：五味文彦）は、「令和4年度 横浜スカーフ・アーカイブの保存と活用に関する覚書」を締結いたしました。これを受け、シルク博物館が主催する「たのしいかいこの発表会」関連事業、横浜輸出スカーフ展示の開催に向け、共同で事業を進めていきます。

横浜スカーフ・アーカイブ資料とは

横浜市では、平成6年に日本輸出スカーフ等製造工業組合から寄贈されたスカーフ資料（現物）約11万点を横浜市歴史博物館に保管しています。この資料は、平成25年度に組織された「横浜スカーフ研究会」が、学識経験者や関係企業の方々のご協力を得て整理し、データベースが作成されています。アーカイブ資料とは、これらのスカーフ資料（現物）とデータベースを合わせたもので、データベースには歴史的に価値のある約3万点のスカーフの図柄の写真が保存され、横浜市歴史博物館で閲覧が可能です（要申請）。



保管されている横浜スカーフ・アーカイブ資料

横浜輸出スカーフ展示について

シルクセンター国際貿易観光会館が管理運営するシルク博物館（横浜市中区）は、12月3日（土）より「たのしいかいこの発表会」を開催します。この関連事業として KGU 横浜スカーフ研究プロジェクト（代表：山崎稔恵 関東学院大学教授）の企画による横浜輸出スカーフ展示「Yokohama meets Africa 横浜スカーフにアフリカの風」が実施されます。展示は横浜スカーフ・アーカイブ資料の現物の中から選りすぐりの品々をご紹介します。



【左】意匠認定番号 7125《市松鶏》昭和32年にナイジェリアの都市ラゴスに輸出されたスカーフ 横浜市歴史博物館所蔵

【右】意匠認定番号 33348《洋傘に手》昭和35年にナイジェリアの都市ラゴスに輸出されたスカーフ（部分） 横浜市歴史博物館所蔵

横浜輸出スカーフ展示
「Yokohama meets Africa 横浜スカーフにアフリカの風」

開催期間：令和4年12月3日～令和5年1月15日

開館時間：9時30分から17時（入館は16時30分まで）

会場：シルク博物館（横浜市中区山下町1番地 シルクセンター2階）

入館料：一般500円、シニア（65歳以上）・大学生300円、高校生100円、小・中学生は無料

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、12月11日、年末年始（12月28日～1月4日）

※横浜輸出スカーフ展示はシルク博物館展示室でご覧いただけます。また、12月18日（日）は入館無料です。

お問合せ先

(横浜スカーフ・アーカイブ資料に関すること)

公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 横浜市歴史博物館副館長 刈田 均 Tel 045-912-7777

('たのしいかいこの発表会'に関すること)

一般財団法人シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館副館長 高橋 典子 Tel 045-641-0841

(横浜輸出スカーフ展示の内容に関すること)

関東学院大学 研究推進課 間部 志保 Tel 045-786-2464